



# おとひめ



山口キャラクター  
「おとちゃん」と「かめはかせ」

令和6年2月22日(木)

## 本年度の学校教育を振り返る

山口小学校長 加藤 美香

本年度も残すところ約1ヵ月となりました。本年度、山口小学校では、目指す学校を「笑顔あふれる学校～学ぶ喜び・挑戦する楽しさ～」とし、中津川市がめざす「よりよいひとりだち」に向けて学校教育を推進してきました。特に本年度は、授業の研究体制を改善し、授業づくりに一層力を注いできました。同様に、体力向上の取組や150周年記念イベントの企画等、小規模校の強みである一人一人の児童が活躍する場を増やし、小学校の段階から自分たちで企画・運営する経験を積み重ねることで、児童の主体性の育成、たくましさの涵養につなげてきました。

果たしてその結果はどうであったのか。ここでは、児童評価より保護者の皆様と共有したい結果を掲載します。※児童・教職員・保護者による評価と学校関係者評価については、裏面をご覧ください。

### ◆目指す学校「**笑顔あふれる学校**～**学ぶ喜び**・**挑戦する楽しさ**～」に関わる児童評価の結果

- ・「**学校が楽しい**」「**授業が分かる**」「**目標を決めて挑戦している**」と回答した児童は、全項目において90%を超えました。今後も、目指す学校について保護者の皆様や地域の方々と共有を図り、年間を通して児童の様子の把握に努めながら教育を推進していきます。

### ◆**学習や生活に関わる児童評価から、「あてはまる」の割合が高く、「ややあてはまる」と合わせて90%以上の結果となった項目**

- ・「授業の内容はよく分かる」
- ・「分からないことがあったらそのままにせず最後まであきらめずに取り組む」
- ・「進んで運動している」 ・「人が困っているときは進んで助ける」(100%)
- ・「地域について学ぶことや人と関わることは楽しい」
- ・「家族、友達、地域の方に進んで挨拶をしている」(100%)

特に、思いやりと挨拶については大きな成果が見られました。こうした児童の肯定的な捉えを受け止めたうえで、教員が「できたつもり」「わかったつもり」で終わっていないかを見極め、児童一人一人の実態に応じた指導・援助、価値付けを継続していきます。

### ◆「**ややあてはまる**」と合わせて85～90%の結果であるものの、「あてまる」の割合に低さがある項目

- ・「自分によいところがある」 ・「家庭学習に進んで取り組んでいる」
- ・「自分の考えを進んで発言する」 ・「わけや図を使って説明している」

自信をもって「できている」と思える子を育てるために、できているときには「できているよ」という声をかけていくことや、確実にできるまで見届け、指導しきることの必要性を職員と確認しました。

保護者の皆様には、学校評価にご協力をいただき、ありがとうございました。児童や教職員による評価、保護者評価や学校関係者評価の結果の分析から、本年度の山口小学校の成果と課題が明らかになりました。今後も、笑顔あふれる学校づくりを通して、保護者の皆様や地域と連携し、児童一人一人のよりよいひとりだちに向けて全職員で学校教育を推進していきます。